



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻教員

1. 助教授 1 名
2. 宇宙進化グループ
3. 宇宙物理学理論
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
6. 博士号取得者
7. ○履歴書、○研究業績リスト、○主要論文別刷（5 編以内）、○これまでの研究概要（2,000 字以内）、○研究計画と今後の抱負（2,000 字以内）、○照会可能者 2 名の氏名と連絡先
8. 2005 年 4 月 15 日（金）必着
9. (1) 〒560-0043 豊中市待兼山町 1-1
大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻
専攻長 川村 光
(2) 同上 高原文郎
Tel: 06-6850-5481 Fax: 06-6850-5504
E-mail: takahara@vega.ess.sci.osaka-u.ac.jp
10. 封筒に「宇宙進化助教授応募書類」と朱書し、簡易書留で送付のこと。

筑波大学数理物質科学研究科物理学専攻教員

1. 講師または助手 1 名
2. 物理学専攻宇宙観測グループ
3. 宇宙物理学（観測）

4. 電波・サブミリ波観測の推進。当該グループでは国土地理院との協力による 20 GHz 帯観測や南極大陸内部の高原地帯におけるサブミリ・テラヘルツ波観測などによる銀河・銀河系・遠方宇宙等の研究を計画している。本計画に参加し、装置開発や観測で成果を上げられる研究者を求める。

5. (1) 決定後できるだけ早い時期
(2) なし
6. 博士号取得者または同等以上の者
7. (1) 履歴書、(2) 業績リスト（査読論文とそれ以外を区別し、主要論文 5 編に○を付ける）、(3) 主要論文 5 編のコピー、(4) これまでの研究の概要（2,000 字程度）、(5) 今後の研究計画と抱負（2,000 字程度）、(6) 意見を求める方 2 名の氏名と連絡先または推薦書
8. 2005 年 4 月 15 日（金）
9. (1) 〒305-8571 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学大学院数理物質科学研究科物理学専攻 専攻長 三好康郎
(2) 〒305-8571 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学大学院数理物質科学研究科物理学専攻 中井直正
Tel: 029-853-4281
E-mail: nakai@physics.px.tsukuba.ac.jp
10. 封筒に「宇宙観測分野教員応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付すること。

人事結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

名古屋大学理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻教授

1. 2003 年 2 月（第 96 巻 2 号）
2. 國枝秀世（宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部教授）

3. 平成 17 年 4 月 1 日

名古屋大学大学院理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻教官

1. 2004 年 4 月 (97 巻 4 号)
2. 該当者なし

研究会・集会案内

神戸大学プラネタリスクール 2005 「ORIGIN OF PLANETARY SYSTEMS」 生徒募集

神戸大学では 21 世紀 COE プログラム—惑星系の起源と進化—の一環として、主に惑星科学・天文学を研究する大学院生や若手研究者を対象に国際学校を開催しています。2005 年は「ORIGIN OF PLANETARY SYSTEMS」と題して、海外の著名な研究者を招待し、それぞれの分野についての講義を行ってまいります。

皆様の積極的な応募をお待ちしています。

招待講師（敬称略）：

S. Beckwith, A. Boss, D. Fischer, T. Guillot,
G. Laughlin, P. Lucas, M. Meyer, B. Oppenheimer,
S. Weidenschilling

日程：2005 年 7 月 11 日（月）～17 日（日）

場所：淡路夢舞台国際会議場

対象：主に惑星科学・天文学を研究する大学院生や若手研究者

定員：60 名（海外から参加の学生を含む。定員超過の場合は応募者の中から大学院生を中心に選考。）

参加費：15,000 円（バンケット代含む）

応募方法：下記 URL 内のプラネタリスクール募集要項に記載のアプリケーションフォームを記入の上、電子メールにて応募

応募締切：2005 年 4 月 15 日

旅費など一部補助するスカラシップ制度がありません。詳細は URL をご参照下さい。

代表者：神戸大学自然科学研究科 中川義次
連絡先：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
神戸大学自然科学研究科 伊藤洋一
Tel: 078-803-6535 Fax: 078-803-6483
E-mail: 21coeps@kobe-u.ac.jp
URL: http://www.kobe-u.ac.jp/21COEPS/index_j.html

岡山天体物理観測所 特別天体観望会のご案内

国立天文台岡山天体物理観測所は、国内最大級の 188 cm 反射望遠鏡による特別天体観望会を行います。観望会への参加を希望される方は、下記要項に従ってご応募下さい。

記

日時：4 月 16 日（土曜日）。所要時間は 2 時間半（送迎バスで移動）

1 班は 18 時 30 分、2 班は 19 時 10 分、3 班は 19 時 50 分発

場所：岡山天体物理観測所、岡山天文博物館

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴のこと）

天体：土星や木星などを予定

定員：100 名（応募多数の場合は抽選）

参加費：無料

申込方法：往復ハガキに代表者の住所、氏名、年齢、連絡先電話番号と、参加者全員の氏名、年齢、希望する班の番号（1, 2, 3, どの班でも良い場合は、4 を指定のこと）を記入してお申込み下さい。申込人数はハガキ 1 枚につき 5 名まで。

3 月 26 日（土曜日）必着。

抽選の上、結果は 4 月 3 日（日）までに連絡いたします。

申込先：〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄 3037-5 岡山天体物理観測所

問合先：Tel: 0865-44-2155（代表）

Fax: 0865-44-2360

URL: <http://www.oao.nao.ac.jp/>

主催：国立天文台岡山天体物理観測所

共催：岡山天文博物館

会務案内

正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 祖父江義明

2005 年度春季総会開催のお知らせ

— 綴じ込みの返信用葉書で 3 月 22 日 (火) までに到着するようご投票を! —

下記の通り 2005 年度春季総会を開催いたしますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の 5 分の 1 以上の出席が必要です (定款第 42 条)。欠席される場合には、下記の議案および説明をよくお読みの上、次の (1) または (2) のどちらかの対応して下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書 (以下「葉書」と呼ぶ) を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。

「葉書」は、3 月 22 日 (火) までに天文学会事務所に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。なお、下記の「投票および委任状の書き方」を参照して下さい。

○2005 年度春季総会

日時: 2005 年 3 月 29 日 (火)

15 時 00 分～16 時 30 分

(総会出席者確認: 15 時 00 分～15 時 30 分, 総会開始 15 時 30 分)

場所: 明星大学 日野キャンパス 1 号館 1 階 (A 会場)

注意: 総会出席確認作業の時間中に会場へ入場して下さい。確認された方には表決の時に必要な札をお渡しします。

○議案の内容と説明

第 1 号議案 2004 年度事業報告書 (案)

天文月報 2005 年 3 月号 199～203 ページ参照

第 2 号議案 2004 年度決算報告書 (案), 監査報告

天文月報 2005 年 3 月号 204～209 ページ参照

また、2004 年度各賞の授与式を行います。

○「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出して下さい。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務所宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えませんが、

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所 (または勤務先) の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票 (正会員以外の者)。
- 5) 2 重投票

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所 (または勤務先) の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの。

【第 1 号議案】

社団法人 日本天文学会 2004 年度事業報告書 (案)

2004 年度は本会創立 97 年目、社団法人設立後 70 年目にあたる。

I. 出版物の刊行

1. 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan): 第 56 巻 1 号～6 号と特別増刊号 1 号の計 7 回刊行。総論文数 114 (うち Letter 11, VSNET 特集 17), 総頁数 1,408, 発行部数 1,850 部, 偶数月の 25 日発行, 科学研究費補助金 (定期刊行物) 790 万円を受領。

2. 天文月報: 第 97 巻 1 号～12 号, 総頁数 758, 総

- 目次 10 頁, 発行部数 3,200 部, 毎月 20 日発行
3. 年会予稿集: 2004 年春・秋季年会の 2 回発行, 総頁数 580, 各 850 部印刷
 4. ジュニアセッション: 春季講演予稿集 82 頁, 500 部印刷
 5. 春・秋公開講演会: 冊子 14 頁, 各 500 部印刷, 科学研究費補助金(研究成果公開発表(B)) 春秋 2 回に 122 万円の交付を受けた。

II. 年会の開催

1. 2004 年春季年会(愛知県)

- ◇年会: 3月22日(月)~3月24日(水)
名古屋大学 東山キャンパス(名古屋市千種区)の14会場(口頭発表用8, ポスター発表用6)を使って開催された。参加者: 891名(他にジュニアセッション参加者196名)
 - 講演数: 597件(口頭328, ポスター269)他にポストデッドライン講演2件。
 - 企画セッション: 「ガンマ線バースト天文学」の企画セッションが開催された。
 - 懇親会: 3月23日(火)18:30~20:30 大学生協フレンドリー南部 参加者337名
- ◇記者会見: 3月21日(日)13:30~ 名古屋市科学館
今年度の林賞と年会講演から3トピックスを選び, 6社の報道機関と会見し資料を提供した。
- ◇天文教育フォーラム: 3月22日(月)16:00~17:20 参加者180名
「天文分野, これを教えたい, これを教えてほしい」をテーマに, さまざまな立場の方々より講演・コメントをして頂いた(天文教育普及研究会と共催)。
- ◇ALMA 特別セッション: 3月24日(水)15:00~参加者約200名
「アルマの建設計画」
本セッションは, 日本天文学会, 日本学術会議天文学研究連絡委員会, 同天文学国際共同観測専門委員会, 同電波科学研究連絡委員会J分科会, 国立天文台電波専門委員会ALMA計画推進小委員会の5者による共催である。
- ◇ASTRO-E2 特別セッション: 3月22日(月)17:20~19:00 参加者約300人
「X線天文衛星Astro-E2の拓く宇宙物理学」
本セッションは, 2005年打上げ予定のAstro-E2衛星の公募観測に対して, 多くの研究者に応募していただくために開催された。Astro-E2サイエンスワーキンググループ主催, 高エネルギー宇宙物

理学連絡会の共催。

- ◇ジュニアセッション: 3月22日(月)10:00~12:00, 14:00~16:00 参加者170名
第6回ジュニアセッションを開催した。講演数34件(口頭発表26件, ポスター発表は8件。口頭・ポスター12件)。天文教育普及研究会と共催, 日本惑星協会・名古屋市科学館の後援を頂いた。
 - ◇研究奨励賞受賞記念講演: 上田佳宏氏「X線背景放射の起源と活動銀河核の宇宙論的進化の解明」と, 小松英一郎氏「WMAPと初期宇宙: インフレーション理論にせまる」の2件の講演が行われた。
 - ◇保育室: 7家族, 子ども延べ24名の利用があった。
 - ◇公開講演会: 3月21日(日)14:00~17:00 名古屋市科学館 参加者340名
「宇宙への誘い」
 - 宇宙に潜む魔物に挑む:
宇宙航空研究開発機構・教授 國枝 秀世氏
 - 不思議な宇宙の構造:
名古屋大学・助教授 松原 隆彦氏
- ### 2. 2004 年秋季年会(岩手県)
- ◇年会: 9月21日(火)~9月23日(木) 岩手大学 上田キャンパス(盛岡市上田)の12会場(口頭発表用7, ポスター発表用5)を使って開催された。
 - 参加者: 844名
 - 講演数: 616件(口頭: 346, ポスター: 270)他にポストデッドライン2件があった。
 - 企画セッション: 次の4セッションが開かれた。「天の川創成プロジェクト」, 「宇宙の大規模構造の形成と進化」, 「銀河団のクーリングフロー問題」, 「彗星物質の起源—二大彗星を迎えて—」
 - 懇親会: 大学生協中央食堂 参加者362名
 - ◇記者会見: 9月20日(月)13:30~ プラザおでって
年会講演から3トピックスを選び, 7社の報道機関と会見し資料を提供した。
 - ◇林 忠四郎賞受賞記念講演: 本年より記念講演を行うことになり, 受賞者の加藤万里子氏(慶応大学), 蜂巢 泉氏(東京大学)による講演「新星から超新星」が行われた。
 - ◇ジュニアセッション: ポスターのみの受付, 4件。
 - ◇保育室: 2家族, 子ども延べ4名の利用者
 - ◇公開講演会: 9月20日(月)14:00~ プラザおでって 参加者30名
「天の川を旅する21世紀の銀河鉄道」
 - 動き出した地上の銀河鉄道: VERA(電波で測

- る): 国立天文台・教授 真鍋盛二氏
 ・宇宙に飛び出す銀河鉄道: JASMINE (赤外線
 で測る): 国立天文台・教授 郷田直輝氏

研究の表題: 「新星風理論の構築と Ia 型超新星
 の起源の解明」

◎欧文報告論文賞 該当論文なし

III. 各賞の授与

春季通常総会 (名古屋大学) の場で, 次の方々へ
 2003 年度の各賞を授与した.

1. 天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞

◎天体発見賞 (6 件 3 名)

- ・板垣公一 (いたがき こういち) 氏: 超新星
 2003cg の発見, 超新星 2003ed の発見, 超新星
 2003ia の発見, 超新星 2003iy の発見
- ・高尾 明 (たかお あきら) 氏: 新星 へびつか
 い座 V2573 の発見,
- ・西村栄男 (にしむら ひでお) 氏: 新星 たて座
 V475 の発見

◎天体発見功労賞 (2 件 2 名)

- ・串田麗樹 (くしだ れいき) 氏: 超新星 2003J
 の独立発見
- ・山本 稔 (やまもと むのる) 氏: 新星 いて座
 V4745 の独立発見

◇天文功労賞 (3 件 4 名)

(長期的な業績)

- ・豆田勝彦 (まめた かつひこ) 氏: 長年にわた
 る流星の眼視観測

(短期的な業績)

- ・高橋 進 (たかはし すすむ) 氏: GRB 030329
 の残光の早期検出
- ・杉江 淳 (すぎえ あつし) 氏: 同上
- ・木下正雄 (きのした まさお) 氏: 流星のクラ
 スター現象の検出

2. 研究奨励賞 (2 件 2 名)

- ・上田佳宏 (うえだ よしひろ) 氏: 宇宙航空研
 究開発機構・助手
 研究テーマ: 「X 線背景放射の起源と活動銀河
 核の宇宙論的進化の解明」
- ・小松英一郎 (こまつ えいいちろう) 氏: テキ
 サス大学・助教授
 研究テーマ: 「WMAP と初期宇宙: インフレー
 ション理論にせまる」

3. 林 忠四郎賞 (第 8 回)・欧文報告論文賞 (第 8 回)

◇林 忠四郎賞 (1 件 2 名)

- ・蜂巣 泉 (はちす いずみ) 氏: 東京大学・助
 教授
- ・加藤万里子 (かとう まりこ) 氏: 慶応義塾大
 学・助教授

IV. 総会・評議員会および理事会

1. 総会

2004 年春季総会

日時: 2004 年 3 月 23 日 (火) 16:00~16:50

場所: 名古屋大学東山キャンパス共通教育棟 3F
 G 会場 (名古屋市)

議長: 松田卓也氏 (天文月報 2004 年 6 月号 p. 379
 議事録参照)

2004 年度秋季総会

日時: 2004 年 9 月 22 日 (水) 16:30~17:20

場所: 岩手大学上田キャンパス人文社会学部 5 号
 館 1 階 A 会場 (盛岡市)

議長: 松田卓也氏 (天文月報 2004 年 12 月号 p.
 754 議事録参照)

2. 評議員会

日時: 2004 年 1 月 24 日 (土) 11:00~15:30

場所: 国立天文台大会議室 (三鷹市)

議長: 福井康雄氏 (天文月報 2004 年 4 月号 p. 251
 議事録参照)

日時: 2004 年 3 月 23 日 (火) 12:30~13:30

場所: 名古屋大学東山キャンパス共通教育棟会議
 室 1 (名古屋市)

議長: 海部宣男氏 (天文月報 2004 年 6 月号 p. 378
 議事録参照)

日時: 2004 年 7 月 10 日 (土) 11:00~15:15

場所: 国立天文台大会議室 (三鷹市)

議長: 岡村定矩氏 (天文月報 2004 年 9 月号 p. 552
 議事録参照)

日時: 2004 年 9 月 22 日 (水) 12:00~13:10

場所: 岩手大学上田キャンパス学生センター 4 階
 会議室 1 (盛岡市)

議長: 観山正見氏 (天文月報 2004 年 12 月号 p. 753
 議事録参照)

3. 理事会

日時: 2004 年 1 月 10 日 (土) 11:00~16:00

場所: 国立天文台大会議室 (三鷹市)

議長: 松田卓也氏 (天文月報 2004 年 4 月号 p. 250
 議事録参照)

日時: 2004 年 3 月 22 日 (月) 12:00~15:10

場所：名古屋大学東山キャンパス共通教育棟会議室 1 (名古屋市)
議長：松田卓也氏 (天文月報 2004 年 6 月号 p. 376 議事録参照)

日時：2004 年 7 月 3 日 (土) 11:00~16:55
場所：国立天文台大会議室 (三鷹市)
議長：松田卓也氏 (天文月報 2004 年 9 月号 p. 550 議事録参照)

日時：2004 年 9 月 21 日 (火) 12:40~15:20
場所：岩手大学上田キャンパス学生センター棟 4 階会議室 1 (盛岡市)
議長：松田卓也氏 (天文月報 2004 年 12 月号 p. 751 議事録参照)

V. 委員会, 選挙, 共催・後援等, 民間の賞・助成, その他

1. 委員会関係

- ◇欧文研究報告編集委員会：2004 年度は約 140 編の論文が投稿された。特別増刊号 1 号を含む全 7 回の発行により、掲載論文総数 114 編、総頁数は 1,408 頁であった。特別増刊号 1 号においては VSNET 開設 10 周年を記念して、「VSNET」を掲載した。予定していた特別増刊号 2 号は、来年度に出版することになった。
 - ◇天文月報編集委員会：2004 年度は 12 回の発行を行い、2~4 月号、6 月号、および 11 月号で合計 5 つの特集を掲載した。特集のテーマは、天文教育・普及、すばる望遠鏡・高分散分光器等の観測装置による最新の研究成果に関するものであった。ここ数年、興味深い特集をできるだけ多く企画する編集方針を取っているが、読者からも好評を得ているものと考えらる。
 - ◇年会実行委員会：2004 年度日本天文学会春季年会 (3 月 22~24 日・名古屋大学) および秋季年会 (9 月 21~23 日・岩手大学) を開催した。準備にあたっては、1 月 16 日および 7 月 13 日に年会実行委員会を国立天文台において開き、プログラムを編成した。なお春季年会では 1 件、秋季年会では 4 件の企画セッションが、いずれもコンピーナー制により開かれた。
 - ◇天文教育委員会：年会時の公開講演会と天文教育フォーラム (共催) を開催した。プラネタリウムなど社会教育施設で行われる、一般向け講演会への講師派遣は、講師登録データベースを整備し、講師派遣事業のいっそうの発展を目指して役立つ
- る予定である。
 - ◇選挙管理委員会：従来は天文学会より科研費審査委員・学術会議会員候補者の推薦を行ってきたが、制度変更に伴って、天文学会から提供する研究者情報の対象者となる科研費審査委員候補者 (3 月)、学術会議会員候補者 (12 月) の選挙を理事・評議員間で行った。
 - ◇林 忠四郎賞選考委員会：12 月 19 日本郷に於いて、2004 年度の林賞選考委員会を開催した。林賞に 1 名の受賞候補者を選考し、欧文研究報告論文賞は本年度 2 件の論文を候補とした。
 - ◇研究奨励賞選考委員会：2004 年度 (第 16 回目) の研究奨励賞受賞候補者 3 名を選考し、評議員会に推薦した。
 - ◇天体発見賞選考委員会：2004 年度の天体発見賞候補者及び天体発見功労賞候補者、天文功労賞受賞候補者を選考し、評議員会に推薦した。
 - ◇内地留学奨学金選考委員会：2005 年度の内地留学奨学金の募集を行った。秋季年会開催中に選考委員会を持ち応募者から 2 名の奨学生 (各 10 万円の支給) を決定した (天文月報 2005 年 1 月号参照)。
 - ◇早川幸男基金選考委員会：渡航旅費補助の募集を年 4 回行い、応募者 44 名のうち採択者 26 名 (内辞退者 2 名) に 274 万 3 千円を援助した。佐藤明達氏より当基金へ 500 万円の寄付を頂いた。
 - ◇ネットワーク委員会：事務所内計算機を常に適正な状態に保守し、サーバを更新し重要データ等のバックアップを適切に行った。また、会員へのお知らせとして、「2004 年 10 月新潟県中越地震等の災害に関連した特別措置のお知らせ」、「ペルーの電波望遠鏡支援のお願い」や「ALMA 建設予算承認の報告」を掲載するなど、学会ホームページの内容を随時更新した。
 - ◇天文教材委員会：月の動きがよくわかる「光る星座早見」(天文学会監修 三省堂刊) を 7 月に発行し、三省堂と共同で本件の特許を申請した。
 - ◇創立 100 周年記念出版事業編集委員会：編集委員会第 1 次案を、7 月 20 日発行の天文月報 8 月号に綴じ込みで全会員に送付するとともに、ウェブで公開し意見を伺った。9 月 6 日の締め切りまでに 20 名を越す会員から意見が出された。これらの意見を踏まえて、10 月 30 日に第三回編集委員会を開催し、第 2 次案の作成作業を始めた。当初の 15 巻構成から 16 巻構成とし、編集者の追加・交替などを行った。2005 年 1 月に第 2 次案を公開するとともに、想定執筆候補の重複調整、会員

からの最終意見聴取などを経て3月中に最終案を決定する予定である。最初に出版する3つの巻は、3月に執筆依頼を出し、10月頃に著者原稿提出締め切りというかなり厳しいスケジュールになっている。それ以後、平均して3ヶ月毎に3巻の原稿を定期的に集めるという、天文としては未曾有の大作戦が必要になる。執筆者となられる会員の皆さんの、ご理解と絶大なご支援をお願いします。

◇学术交流費：賛助会員会費を使って、大学院生等の年会における研究成果発表の際に、旅費の一部補助を行う制度である。2004年度の春季年会は名古屋大学、秋季年会は岩手大学で開催された。本年度は発表者81名に対して122万6千円の旅費補助を行った。

2. 選挙

◇従来は天文学会の正会員による選挙を行い、学術会議会員候補者の推薦を行ってきた。日本学術会議法の一部改正に伴い、理事及び評議員の投票により11月に選挙を行い、学術会議会員候補の研究者情報の提供を8名について行った。

◇2月に理事及び評議員の投票により、平成17年度科学研究費補助金審査委員に適した研究者情報を、学術会議へ提供した。

3. 共催・後援等

◇国際・国内シンポジウムなどの共催3件、後援9件、協賛7件を行なった。

4. 民間の賞及び研究助成

各種の賞および研究助成の推薦を行った。

5. その他

◇文部科学省より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費研究成果発表(B)」(公開講演会)春秋2件に対して、122万円が交付された。

◇日本学術振興会より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費(学術定期刊行物: PASJ)」に対して、790万円が交付された。

◇アインシュタイン「奇跡の年」から100年を記念して組織された「世界物理年日本委員会」に参加した。

◇松田理事長を座長とした「教育問題懇談会」が発足した。本懇談会は、初等・中等の理科教育(特に天文教育)等を検討するために設けられたものである。

◇「2004年10月新潟県中越地震等の災害に関連した特別措置のお知らせ」を、月報12月号に投げ込みで行った。2005年度会費免除を希望する方が数名あった。

◇会員からのPASJ寄贈76部のうち46部を発展途上国及びPASJ購入困難な国に寄贈(28ヶ国)している。

会員数

2004年12月31日現在の会員数は以下の通りである。

2003年12月31日	正会員(内学生)	準会員	団体会員	賛助会員	合計
	1,534 (319)	1,246	41	38	2,859
入会	131 (112)	31	1	0	163
退会	55 (30)	80	0	0	135
移籍(増)	5 (4)	19	0		24
移籍(減)	19 (3)	5	0		24
正会員(学生減)→(正会員)	(81)				
2004年12月31日	1,596 (321)	1,211	42	38	2,887

(注: 移籍とは正会員、準会員と団体会員間の移動のことを指す)

定款第12条に基づき、1月の評議員会議決を経て、正会員13名(内学生5名)、準会員13名が2002年度からの会費未納のため除名された。退会正会員に二重

登録者一名が含まれる。

(文責 庶務理事: 杉山 直)

【第2号議案】

社団法人 日本天文学会 2004 年度決算報告書 (案)

《一般会計》

収支計算書

2004 年 1 月 1 日～2004 年 12 月 31 日

[収入の部] (単位: 円)

科目	予算額	決算額
基本財産運用収入	4,000	2,510
基本財産利息収入	4,000	2,510
会費収入	35,270,000	37,231,000
正会員会費	21,060,000	22,950,000
正会員(学生)会費	4,160,000	4,173,000
準会員会費	9,600,000	9,688,000
団体会員会費	450,000	420,000
事業収入	25,665,800	31,042,553
欧文研究報告発行事業収入	14,065,800	17,148,222
購読料	4,258,800	4,172,123
掲載料	7,791,000	10,179,100
別刷代	2,016,000	2,796,999
天文月報発行事業収入	3,800,000	4,215,331
購読料	800,000	612,132
別刷代	1,000,000	875,599
広告料	2,000,000	2,727,600
年会事業収入	7,800,000	9,679,000
予稿集頒布収入	2,600,000	2,531,000
登録料	5,100,000	6,927,000
年会雑収入	100,000	221,000
補助金等収入	8,520,000	9,120,000
定期刊行物補助金	7,200,000	7,900,000
公開講演会補助金	1,320,000	1,220,000
寄付金収入	150,000	69,400
寄付金	150,000	69,400
印税収入	2,005,000	2,142,000
星座早見	2,000,000	2,142,000
その他	5,000	0
雑収入	703,000	1,028,880
受取利息	3,000	1,626
特別企画	500,000	409,300
その他の収入	200,000	354,954
延滞金		263,000
特定預金取崩収入	0	0
減価償却預金取崩	0	0
退職預金取崩	0	0
当期収入合計(A)	72,317,800	80,636,343
前期繰越収支差額	22,550,803	33,594,945
収入合計(B)	94,868,603	114,231,288

[支出の部] (単位: 円)

科目	予算額	決算額
事業費	49,270,000	51,826,099
欧文研究報告発行事業費	25,570,000	28,343,703
直接出版費	14,254,000	17,003,560
別刷印刷費	998,000	894,021
人件費	4,100,000	4,433,303
謝金	3,918,000	3,824,860
送料運搬費	2,000,000	1,947,293
消耗品費	200,000	195,457
雑費	100,000	45,209
天文月報発行事業費	15,400,000	15,121,507
直接出版費	7,200,000	8,194,796
別刷印刷費	800,000	475,804
人件費	1,300,000	1,299,675
謝金	2,600,000	1,540,000
送料運搬費	2,700,000	2,915,530
消耗品費	500,000	596,984
雑費	300,000	98,718
年会事業費	8,300,000	8,360,889
予稿集印刷費	2,000,000	1,986,805
謝金	1,150,000	1,221,897
送料運搬費	250,000	142,898
会場費	2,400,000	2,695,228
消耗品費	300,000	195,792
人件費	1,300,000	1,299,690
雑費	200,000	109,057
旅費交通費	300,000	310,100
保育室運営経費	200,000	222,713
ジュニアセッション経費	200,000	176,709
管理費	19,970,000	22,628,153
人件費	7,500,000	7,491,020
謝金	500,000	372,150
会議費	200,000	235,123
負担金	0	8,500
租税公課		1,391,200
法定福利費		862,681
旅費交通費	950,000	1,005,060
送料通信費	1,300,000	930,179
什器備品費	1,000,000	757,535
消耗品費	1,100,000	1,682,234
印刷製本費	700,000	880,950
光熱水料費	250,000	188,098
賃借料	1,750,000	1,643,727
保険料	150,000	12,840
諸手数料	500,000	281,113
修繕費	100,000	0
書籍購入費	150,000	205,374
学術交流費へ繰入	1,400,000	1,400,000
特別企画調整費	200,000	253,663
公開講演会諸経費	1,320,000	1,259,583
天体発見賞等経費	700,000	395,224
雑費	200,000	634,899
退職金支出	0	0
徴収不能額	0	737,000
特定預金支出	1,208,000	1,366,000
減価償却預金引当支出	1,000,000	1,000,000
退職引当預金支出	208,000	366,000
予備費	24,420,603	0
当期支出合計(C)	94,868,603	75,820,252
当期収支差額(A)-(C)	△22,550,803	4,816,091
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	38,411,036

貸借対照表
2004年12月31日現在

正味財産増減計算書
2004年1月1日～2004年12月31日

(単位：円)

(単位：円)

科 目	金 額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	52,722,306		
未収会費	1,818,405		
貯蔵品	1,484,964		
有価証券	5,700,000		
前払金	158,620		
未収入金	4,091,215		
流動資産合計		65,975,510	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	12,310,000		
基本財産合計	12,310,000		
その他の固定資産			
什器備品	2,805,306		
投資有価証券	1,200,000		
退職引当預金	961,000		
減価償却引当預金	5,023,343		
その他の固定資産合計	9,989,649		
固定資産合計		22,299,649	
資産合計			88,275,159
[負債の部]			
流動負債			
未払金	1,812,010		
前受金	2,750,500		
前受会費	21,517,000		
流動負債合計		26,079,510	
固定負債			
退職引当金	961,000		
固定負債合計		961,000	
負債合計			27,040,510
[正味財産の部]			
正味財産			61,234,649
[うち基本金]			[12,310,000]
[うち当期正味財産増加額]			[5,960,279]
負債及び正味財産合計			88,275,159

科 目	金 額		
[増加の部]			
資産増加額			
当期収支差額	4,816,091		
什器備品増加額	757,535		
貯蔵品増加額	80,916		
退職引当預金増加額	366,000		
減価償却引当預金増加額	1,000,425	7,020,967	
負債減少額			
増加額合計			7,020,967
[減少の部]			
資産減少額			
什器備品減価償却額	694,688		
什器備品廃棄額			
貯蔵品減少額		694,688	
負債増加額			
退職引当金繰入額	366,000	366,000	
減少額合計			1,060,688
当期正味財産増加額			5,960,279
前期繰越正味財産額			55,274,370
期末正味財産合計額			61,234,649

財産目録
2004年12月31日現在

(単位: 円)

科 目	金 額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	52,722,306		
現金 手許有高	31,202,159		
普通預金	21,520,147		
東京三菱銀行	21,361,615		
住友信託銀行	158,532		
未収会費	1,818,405		
貯蔵品	1,484,964		
有価証券	5,700,000		
前払金	158,620		
未収入金	4,091,215		
流動資産合計		65,975,510	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	12,310,000		
基本財産合計	12,310,000		
その他の固定資産			
什器備品	2,805,306		
投資有価証券	1,200,000		
退職引当預金	961,000		
減価償却引当預金	5,023,343		
その他の固定資産合計	9,989,649		
固定資産合計		22,299,649	
資産合計			88,275,159
[負債の部]			
流動負債			
未払金	1,812,010		
前受金	2,750,500		
航空便前受	50,500		
その他の前受	1,760,000		
予稿集前受	940,000		
預り金	0		
給与源泉税	0		
前受会費	21,517,000		
正会員会費	13,945,000		
正会員会費(学生)	1,664,000		
準会員会費	5,888,000		
団体会員会費	20,000		
流動負債合計		26,079,510	
固定負債			
退職引当金	961,000		
固定負債合計		961,000	
負債合計			27,040,510
正味財産合計			61,234,649

《特別会計》

 学術交流費会計
 収支計算書

2004年1月1日～2004年12月31日

(単位: 円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
賛助会員会費収入	1,200,000	1,350,000
一般会計よりの繰入	1,400,000	1,400,000
受取利息	100	12
当期収入合計 (A)	2,600,100	2,750,012
繰越収支差額	828,458	626,224
収入合計 (B)	3,428,558	3,376,236
[支出の部]		
学術交流費	1,400,000	1,226,000
雑費	1,000	3,855
徴収不納額		
当期支出合計 (C)	1,401,000	1,229,855
当期収支差額 (A)-(C)	1,199,100	1,520,157
次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,027,558	2,146,381

貸借対照表

2004年12月31日現在

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	2,056,381		
未収会費	90,000		
流動資産合計		2,146,381	
資産合計			2,146,381
[負債の部]			
流動負債			
前受会費	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
[正味財産の部]			
正味財産			2,146,381
(うち当期正味財産増加額)			(1,520,157)
負債及び正味財産合計			2,146,381

財産目録

2004年12月31日現在

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	2,056,381		
普通預金	2,056,381		
東京三菱銀行	2,056,381		
未収会費	90,000		
流動資産合計		2,146,381	
資産合計			2,146,381
[負債の部]			
流動負債			
前受会費	0		
賛助会員会費	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			2,146,381

 内地留学奨学金基金会計
 収支計算書

2004年1月1日～2004年12月31日

(単位: 円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	1,000	617
当期収入合計 (A)	1,000	617
繰越収支差額	3,876,006	3,792,787
収入合計 (B)	3,877,006	3,793,404
[支出の部]		
奨学金支出	250,000	250,000
雑費	2,000	1,575
旅費支出	10,000	51,000
当期支出合計 (C)	262,000	302,575
当期収支差額 (A)-(C)	△261,000	△301,958
次期繰越収支差額 (B)-(C)	3,615,006	3,490,829

貸借対照表

2004年12月31日現在

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	790,829		
有価証券	2,700,000		
流動資産合計		3,490,829	
資産合計			3,490,829
[正味財産の部]			
正味財産			3,490,829
(うち当期正味財産減少額)			(△301,958)
負債及び正味財産合計			3,490,829

財産目録

2004年12月31日現在

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	790,829		
普通預金	790,829		
住友信託銀行	790,829		
有価証券	2,700,000		
流動資産合計		3,490,829	
資産合計			3,490,829
正味財産			3,490,829

研究奨励賞基金会計

収支計算書

2004年1月1日～2004年12月31日

(単位: 円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄付金収入	10,000	211,000
受取利息	50	996,476
当期収入合計 (A)	10,050	1,207,476
繰越収支差額	5,471,909	4,911,059
収入合計 (B)	5,481,959	6,118,535
[支出の部]		
奨励賞支出	300,000	200,000
雑費	15,000	21,532
旅費支出	20,000	6,500
当期支出合計 (C)	335,000	228,032
当期収支差額 (A)-(C)	△324,950	979,444
次期繰越収支差額 (B)-(C)	5,146,959	5,890,503

貸借対照表

2004年12月31日現在

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	1,688,503		
定額預金	4,202,000		
流動資産合計		5,890,503	
資産合計			5,890,503
[正味財産の部]			
正味財産			5,890,503
(うち当期正味財産増加額)			(979,444)
負債及び正味財産合計			5,890,503

財産目録

2004年12月31日現在

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	1,688,503		
郵便預金	1,479,003		
振替貯金	209,500		
定額預金	4,202,000		
流動資産合計		5,890,503	
資産合計			5,890,503
正味財産			5,890,503

早川幸男基金会計

収支計算書

2004年1月1日～2004年12月31日

(単位: 円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄付金収入	1,000,000	5,000,000
受取利息	7,000	5,971
当期収入合計 (A)	1,007,000	5,005,971
繰越収支差額	28,089,640	29,573,649
収入合計 (B)	29,096,640	34,579,620
[支出の部]		
研究補助支出	2,700,000	2,745,132
雑費	10,000	8,295
当期支出合計 (C)	2,710,000	2,753,427
当期収支差額 (A)-(C)	△1,703,000	2,252,544
次期繰越収支差額 (B)-(C)	26,386,640	31,826,193

貸借対照表

2004年12月31日現在

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	1,826,193		
有価証券	30,000,000		
流動資産合計		31,826,193	
資産合計			31,826,193
[正味財産の部]			
正味財産			31,826,193
(うち当期正味財産増加額)			(2,252,544)
負債及び正味財産合計			31,826,193

財産目録

2004年12月31日現在

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	1,826,193		
普通預金	1,826,193		
東京三菱銀行	1,621,460		
住友信託銀行	204,733		
有価証券	30,000,000		
流動資産合計		31,826,193	
資産合計			31,826,193
正味財産			31,826,193

林 忠四郎賞基金会計

収支計算書

2004年1月1日～2004年12月31日

(単位: 円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	3,000	2,632
当期収入合計 (A)	3,000	2,632
繰越収支差額	14,360,857	13,978,532
収入合計 (B)	14,363,857	13,981,164
[支出の部]		
林賞支出	300,000	300,000
雑費	20,000	19,890
旅費支出	150,000	60,000
当期支出合計 (C)	470,000	379,890
当期収支差額 (A)-(C)	△467,000	△377,258
次期繰越収支差額 (B)-(C)	13,893,857	13,601,274

貸借対照表

2004年12月31日現在

科目	金額	
[資産の部]		
流動資産		
現金・預金	601,274	
有価証券	13,000,000	
流動資産合計		13,601,274
資産合計		13,601,274
[正味財産の部]		
正味財産		13,601,274
(うち当期正味財産減少額)		(△377,258)
負債及び正味財産合計		13,601,274

財産目録

2004年12月31日現在

科目	金額	
[資産の部]		
流動資産		
現金・預金	601,274	
普通預金	601,274	
住友信託銀行	601,274	
有価証券	13,000,000	
流動資産合計		13,601,274
資産合計		13,601,274
正味財産		13,601,274

監査報告書

2004年度事業報告書、2004年度決算報告書について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令および定款に照らして正当であることを認めます。

2005年1月6日

社団法人 日本天文学会

監事 家 正則 ㊟

監事 尾中 敬 ㊟

創立100周年記念出版事業基金会計

収支計算書

2004年1月1日～2004年12月31日

(単位: 円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	100	293
当期収入合計 (A)	100	293
繰越収支差額	30,000,022	29,807,244
収入合計 (B)	30,000,122	29,807,537
[支出の部]		
出版経費	0	0
旅費支出	400,000	108,000
雑費	60,000	26,745
当期支出合計 (C)	460,000	134,745
当期収支差額 (A)-(C)	△459,900	△134,452
次期繰越収支差額 (B)-(C)	29,540,122	29,672,792

貸借対照表

2004年12月31日現在

科目	金額	
[資産の部]		
流動資産		
現金・預金	4,672,792	
有価証券	25,000,000	
流動資産合計		29,672,792
資産合計		29,672,792
[正味財産の部]		
正味財産		29,672,792
(うち当期正味財産減少額)		(△134,452)
負債及び正味財産合計		29,672,792

財産目録

2004年12月31日現在

科目	金額	
[資産の部]		
流動資産		
現金・預金	4,672,792	
普通預金	4,672,792	
東京三菱銀行	4,671,742	
住友信託銀行	1,050	
有価証券	25,000,000	
流動資産合計		29,672,792
資産合計		29,672,792
正味財産		29,672,792

2004 年度日本天文学会各賞について

2004 年度日本天文学会各賞の受賞者と受賞項目は、2005 年 1 月 22 日の評議員会で次の通り決定されましたので報告致します。

◎天体発見賞（11 件 5 氏）

- 板垣公一（いたがき こういち）氏：超新星 2004A の発見，超新星 2004B の発見，超新星 2004dj の発見，超新星 2004eo の発見，超新星 2004ez の発見
- 串田麗樹（くしだ れいき）氏：超新星 2004G の発見，超新星 2004bv の発見
- 西村栄男（にしむら ひでお）氏：新星 いて座 V5114 の発見
- 高尾 明（たかお あきら）氏：新星 へびつかい座 V2574 の発見，新星 さそり座 V1187 の発見
- 多胡昭彦（たご あきひこ）氏：新星 とも座 V574 の発見

◎天体発見功労賞（4 件 3 氏）

- 中村祐二（なかむら ゆうじ）氏：新星 いて座 V5114 の独立発見，新星 へびつかい座 V2574 の独立発見
- 板垣公一（いたがき こういち）氏：超新星 2004aw の独立発見
- 櫻井幸夫（さくらい ゆきお）氏：新星 とも座 V574 の独立発見

◎天文功労賞（1 件 1 団体）

（長期的な業績）

- 武蔵高等学校中学校太陽観測部：75 年にわたる太陽面の継続観測

（短期的な業績）

なし

◎研究奨励賞（3 件 3 氏）

- 片岡 淳（かたおか じゅん）氏：東京工業大学・大学院理工学研究科・助手
研究テーマ：「相対論的ジェットにおける粒子加速とエネルギー輸送の研究」
- 河北秀世（かわきた ひでよ）氏：県立ぐんま天文台・観測普及研究グループ・主任
研究テーマ：「彗星の起源研究に有効な新手法の開発およびその応用に関する研究—彗星分子のオルソ・パラ比の導出—」
- 福重俊幸（ふくしげ としゆき）：東京大学・大学院総合文化研究科・助手
研究テーマ：「ダークハロー形成・進化の理論的研究」

◎林 忠四郎賞（1 件 1 氏）

- 須藤 靖（すとう やすし）氏：東京大学・大学院理学系研究科・助教授
研究の表題：「銀河および銀河団を用いた観測的宇宙論の研究」

◎欧文研究報告論文賞（2 編）

- 著者：K. Kodaira, Y. Taniguchi, N. Kashikawa, N. Kaifu, H. Ando, H. Karoji, M. Ajiki, M. Akiyama, K. Aoki, M. Doi, S. S. Fujita, H. Furusawa, T. Hayashino, M. Imanishi, F. Iwamuro, M. Iye, K. S. Kawabata, N. Kobayashi, T. Kodama, Y. Komiyama, G. Kosugi, Y. Matsuda, S. Miyazaki, Y. Mizumoto, K. Motohara, T. Murayama, T. Nagao, K. Nariai, K. Ohta, Y. Ohyama, S. Okamura, M. Ouchi, T. Sasaki, K. Sekiguchi, K. Shimasaku, Y. Shioya, T. Takata, H. Tamura, H. Terada, M. Umemura, T. Usuda, M. Yagi, T. Yamada, N. Yasuda and M. Yoshida
論文：The Discovery of Two Lyman Alpha Emitters beyond Redshift 6 in the Subaru Deep Field, PASJ, Vol. 55 (2003), pp. L17-L21
- 著者：Shin Mineshige, Toshihiro Kawaguchi, Mitsuru Takeuchi, Kiyoshi Hayashida
論文：Slim Disk Model for Soft Excess and Variability of Narrow-Line Seyfert 1 Galaxies, PASJ, Vol. 52 (2000), pp. 499-508

(社)日本天文学会へ2004年9月18日から2005年1月7日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

正会員入会者 (32名)

島崎朝彦	相模原南部方面総合産業高校開校準備室	勝亦優大	東海大・大学院理 (在学)
塚越 崇	国立天文台・野辺山/東京工業大 (在学)	高妻真次郎	九州大・理 (在学)
金田博幸	富士通(株)	道頭健一	大阪教育大・大学院 (在学)
石原明香	東京大・大学院理 (在学)/国立天文台	岸下徹一	東京大・大学院 (在学)/JAXA・宇宙科学研究本部
宇賀神正樹	アキレス(株)		
田中陽平	京都大・大学院理 (在学)	村井優香	京都大・大学院理 (在学)
矢倉照章	大阪大・レーザーエネルギー学研究センター (在学)	遠藤 光	東京大・大学院理 (在学)
		櫻井冬子	東京学芸大・大学院 (在学)
河原 創	東京大・大学院理 (在学)	勝浦真弓子	大阪教育大・大学院 (在学)
道越秀吾	京都大・大学院理 (在学)	石塚知香子	北海道大・大学院理 (在学)
原田順勘	富山システム(株)	松井秀徳	北海道大・大学院理 (在学)
森 浩二	宮崎大・工	濱田 剛	理化学研究所
能登谷 瞬	東京大・大学院理 (在学)	海田正大	東京学芸大・大学院 (在学)
長島 薫	東京大・理 (在学)	呉 忠植	東京大・大学院理 (在学)/国立天文台
河津飛宏	京都大 (在学)	久保田香織	東京工業大・理 (在学)
新井将丈	京都大・理 (在学)	早藤麻美	東京理科大 (在学)
鈴木大輔	川口市立科学館	永原裕子	東京大・大学院理

準会員入会者 (10名)

杉野友司	四日市市在住	齋藤和幸	日原天文台
小川 敦	三菱重工業(株)	長谷川 直	JAXA・宇宙科学研究本部
野田浩司	東京大・宇宙線研究所	石井崇裕	(株)フジクラ
佐々木真人	東京大・宇宙線研究所	神蔵 護	東京大・大学院理 (在学)/国立天文台
郷古高志	川崎市在住	戸塚 都	広島大・大学院理 (在学)

団体会員入会者 (1団体) ミュージアムパーク茨城県自然博物館

賛助会員入会者 (1社) ジクラー・データシステムズ(株)

移籍会員

[準→正] (3名)

佐藤哲也	山梨大・クリーンエネルギー研究センター	関谷 実	九州大・大学院理
		徳丸賢治	日本キリスト教団

[正→準] (14名)

西田大輔, 山本一登, 旭 敏之, 井上 猛, 藤本正樹, 森 巧, 多賀正敏, 伊藤孝士, 高根澤 隆, 小浦寛之, 井澤寿予, 土屋兼一, 小幡常啓, 大嶋 洋

正会員退会者 (24名)

沖浦真保子, 興梶 淳, 中村美穂, 鳥羽弘之, 今江理人, 長澤幹夫, 流田勝夫, 橋本正章, 鷺見治一, Y. H. Kim, 麻生善之, 鈴山智也, 安藤 稔, 亀屋暁人, 越智康浩, 川上申之介, 松宮 慎, 五十川知子, エハメティ・レテブ, 斎藤卓弥, 大川洋平, 金井淳一, 二河久子, 羽馬有紗

準会員退会者 (39名)

和田敏明, 川添哲志, 湯浅祥司, 三谷哲康, 池村俊彦, 市村喜八郎, 稲吉 彰, 内田 直, 浦 太郎, 大家 弘, 河北 実, 木口克行, 谷本亜紀, 佐脇 功, 島添高行, 下山田雄爾, 寺岡 茂, 梶田 寛, 浜 真一, 平澤敏晃, 平野泰利, 堀 晃, 堀合幸次, 矢野秀樹, 湯田英明, 及位正喜, 水野義和, 村山 準, 野崎文江, 村田美穂, 松原敬二, 新林章輝, 山中直人, 森 俊則, 森木常造, 江ノ口英之, 田中敏夫, 小倉幸夫, 岡田 隆

賛助会員退会者 (1社) 東京学術印刷(株)

訂 正

2005年2月(第98巻2号)の雑報に間違いがありました。雑報118頁左側本文21行目です。お詫びして訂正致します。

- 誤) ベラ超新星残骸の周りには周りがある
正) ベラパルサーで有名なベラ超新星残骸の周りがある

訂 正

2005年2月(第98巻2号)の奥付に間違いがありました。お詫びして訂正致します。

- 誤) 平成16年1月20日 ©2004年
正) 平成17年1月20日 ©2005年

早川幸男基金へのご寄付
(若手海外学術研究援助基金)

2005年2月1日に、(社)日本天文学会会員の佐藤明達氏より当基金へ500万円のご寄付を頂きました。佐藤明達氏に御礼申し上げますと共に会員の皆様にお知らせ致します。

社団法人 日本天文学会
理事長 祖父江義明

和田桂一(編集長), 今西昌俊, 亀野誠二, 齋藤正雄, 寺田幸功, 濤崎智佳, 戸谷友則, 洞口俊博, 増田 智, 矢野太平
平成17年2月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2005年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)